

利用年月	利用者総数	介護度別 利用者内訳						総合計	サービス提供提供時間 区分						総合計
		総合	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	
2021年1月	145名	0	1	3	2	7	1	14	0	0	0	5	2	138	145
2021年2月	150名	0	2	3	2	7	1	15	0	2	0	4	0	144	150
2021年3月	173名	0	3	3	2	7	1	16	0	2	0	8	2	161	173
2021年4月	160名	0	3	2	3	7	1	16	0	2	0	8	1	149	160
2021年5月	161名	0	3	2	3	6	1	15	0	2	0	7	0	152	161
2021年6月	159名	0	3	2	2	6	1	14	0	2	1	6	0	150	159
2021年7月	157名	0	4	2	2	6	1	15	0	2	0	5	1	149	157
2021年8月	159名	0	4	2	2	5	1	14	0	2	3	3	5	146	159
2021年9月	154名	0	4	2	2	5	1	14	0	2	0	7	9	136	154
2021年10月	148名	0	4	2	2	5	1	14	0	2	0	8	9	129	148
2021年11月	0名	0	4	2	1	5	1	13	0	2	0	5	9	117	133
2021年12月	0名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0名	0	35	25	23	66	0	0	0	0	0	5	38	1571	1614

保険証 交付元 一覧	利用者総数	利用者一覧
		内一般利用者数
三島市	2名	2
熱海市	1名	0
清水町	1名	0
伊豆の国市	1名	0
世田谷区	1名	1
函南町	5名	4
焼津市	1名	0
合計	14名	7

10月	平均介護度	2,76
	当月稼働率	44,3%

R3年5月～10月までのインシデント（ヒヤリハット）64件と要望6件

92歳要介護4女性（11件）

- ・入浴前、リハパン履かれておらず布ショーツにパットされており、失禁と便汚染あり。
「汚しちゃったから、脱いじゃった」と発言あり。
失禁や汚染により、陰部・鼠径部に爛れがある方のため、汚してしまった際は、施設の職員に伝えて下さるようお話する。入浴されない利用日も早めのトイレ誘導し確認させて頂く。
- ・到着時、車椅子のフットサポートが緩んでいるのを発見する。
フットサポートが上げた状態で固定できず、立ち上りの際踏んだり引っ掛かったりして転倒の危険ある為、ネジを締め直して対応する。（福祉用具担当者により）
- ・入浴時、陰部の爛れが悪化しているのを発見する。
丁寧に洗浄し施設看護師より指示のあった軟膏塗布し爛れの状況を他職員・入居施設・ケアマネに報告する。
- ・入浴の為の脱衣時、肛門部に、ペーパーおしぼりを挟まれており、便付着あり。
通常施設でもデイでもペーパーおしぼりは使用していない為、どうされたか確認させて頂くと「もらった」と話される。収集癖のある方の為、入居施設に申し送る。
- ・入浴前の脱衣時、右腕・ブラウスに便汚染あり、臀部にも便がふききれていない様子見られる。
右腕・臀部丁寧に洗浄し、衣類は洗濯対応する。今後、利用開始時、衣類確認等させて頂く事となる。
- ・入浴時、左鼠蹊部に 5mm×3mm 程のおできの様な腫脹発見する。痛みの訴え無いものの、「気になる」と発言あり。
リハパンのゴムが当たる場所の為、摩擦で出来たものと思われる為、入居施設の看護師に報告する。
- ・入浴前、パットに陰部からと思われる出血痕あり。
陰部の爛れ部分を搔いてしまった様子の為、搔かない様お話し、丁寧に洗浄し持参薬塗布
状態を入居施設看護師に報告する。
- ・入浴の為の脱衣時、車椅子の座面に敷いてあるバスタオルに便汚染があるのを発見する。
外して、洗濯対応させて頂き、今後車椅子等にも便汚染無いか確認させて頂く事とする。
- ・入浴中、洗身時、左胸の下に爛れを発見する。
10月にしては気温高く、発汗と蒸れにより痒みが生じさらにご自分で、搔いてしまった様子の為、丁寧に洗浄し、痒み止め塗布する。
- ・昼食後、在宅からデイ利用されている方から、職員に気づかれない様に 10cm×2cm 程の羊糞3本受け取りバックに入れようをされるところを発見する。

個々にお話し、ハート函南にお預かりし、おやつ時少しづつ召し上がっていただく事とし、入居施設・お二人のケアマネに状況を報告する。(在宅の方におねだりしてしまった様子) 職員間で状況を周知し、再発を防ぐ様対応する事となる。

- ・入浴時、便失禁されていた為、丁寧に洗浄し、湯船に入って頂くも湯船内でも多量に便失禁されてしまう。
上がって頂き、再度洗身施行、湯船内・浴室を洗浄消毒施行する。

79 歳男性要介護 4 (10 件)

- ・持参された・入浴後の着替えのズボンが、尿汚染されたものだった。
入浴後の着かえをご自分で用意することがあり、洗濯に出した衣類と洗濯後の衣類の区別がつかなかったと思われる。
入居施設の職員に申し送り、デイに持って来られる着かえ様の衣類の確認をお願いする。
- ・入浴の洗身時、亀頭部分の汚れ酷く丁寧に洗浄する。
汚れがたまりやすい部分でご自分で洗うのが難しくなっている為、入浴時確認し洗身時丁寧にを行う。
- ・入浴前、尿失禁多量でパット・リハパン・ズボン・クッション・車椅子まで尿汚染あり。
全て交換し衣類・クッション等洗濯対応しその他交換する。
- ・尿かぶれ等の悪化の可能性あり、尿量多い為、拒否みられても時間でトイレ介助施行する。
- ・左肘付近が、車椅子のアームレストあたり皮膚状態に変化あり、擦れた様子や内出血の様な色の変化あり。
左傾きが酷くなり、アームレストに比重がかかっていると思われる為、クッションをあてる等して、少しでも左傾きが改善する様対応する。
- ・入浴後左上腕に 8mm 程の傷を発見する。
ガーゼ保護し入居施設に申送る。
- ・トイレに行くのが面倒な様子で排泄の訴えがない為、時間で誘導していたが、多量な尿失禁が続き、リハパン・パットに治まらずズボンまで交換する。
トイレ誘導の回数を増やし、間の時間を短くして対応する。
- ・昼食時、スプーンが上手く動かせず器に引っかかってしまいこぼしてしまう回数が増え疲れてしまわれる様子見られる。
食欲はある為、疲れた様子見られたり、こぼすことが多くなった際は介助させて頂く。
- ・入浴時、左肩の後ろ側に発赤あり。
左傾きが酷くなり車椅子背面のシートにあたり圧迫されている様子、クッションをあてて対応する。
- ・入浴後、左手区部の内出血部分より、少量出血しているのを発見する。
ガーゼ保護し、入居施設に申送る。

- ・入浴時、左膝に傷があるのを発見する。どうしたか尋ねるも、覚えていない様子。

入浴後、看護師により処置施行し、入居施設に申送る

73 歳男性要介護（8 件）

- ・利用開始後最初のトイレ介助時、パットされておらずリハパンに尿失禁あり。
リハパン交換しパットを使用させて頂く。
- ・利用開始最初のトイレ介助時、右臀部に発赤あり。
暑さでリハパン内が蒸れ擦れたことにより皮膚トラブルと思われ、軟膏塗布する。
- ・利用最初のトイレ介助時、パットされておらず尿失禁多量で、リハパン・肌着・ズボンに
尿汚染あり。
リハパン・衣類交換しパットを使用していたく。衣類は洗濯対応する。
- ・利用開始しばらくして、右手第 1 指の爪が 2mm×2mm 剥がれているのを発見する。
Ns によりそれ以上剥がれない様処置施行し入居施設に申送る。
- ・利用最初のトイレ介助時、リハパンを裏返しに履かれており（2 件）、パットに便汚染あり。
リハパン直させて頂き、パット交換お尻ふきにより清拭施行する。
- ・利用開始時、右頬にひどい掻き傷を発見する。
自分で掻いてしまったとの事、軟膏塗布し様子観察する。
- ・入浴時、頭頂部に傷を発見する。
自分でかじってしまったと答えられる。痒み止め塗布する。

94 歳女性要介護 4（8 件）

- ・利用開始時、尿臭強く、トイレ誘導施行、尿失禁多量でリハパン・パット・ズボンまで汚染あり。
リハパン・パット・ズボン交換し、ズボン洗濯対応する。
- ・入浴時、肛門付近に表皮剥離を発見する。
丁寧に洗浄し、軟膏塗布し様子観察、入居施設看護師に報告する。悪化や処置の必要がある際は、報告願います。
- ・入浴時、左足首下から足に浮腫が有るのを発見する。
車椅子使用され、血行不良がある様子。入居施設 Ns に報告する。
- ・利用開始時より、便臭強く、トイレ介助行くと多量に下痢便失禁あり。
陰部・臀部・鼠径部洗浄洗浄し、リハパン・パット・ズボン交換しズボンは洗濯対応する。
- ・昼食後、ご自分の鼻汁をかんだ、ティッシュペーパーを口に運ぼうとされた為、おとめする。
昼食直後で、食べ物と勘違いされた様子。認知症が進み、区別がつかない時がある為テーブル上のゴミ箱を遠避け、付き添い対応する。

- ・午前中、声掛けするも、トイレ誘導を拒否される。昼食後の口腔ケアの際、立ち上って頂きそのままトイレ介助させていただくと多量に尿失禁あり。
認知症が進み、尿意が分からなかった様子、汚染されたリハパン・パット・ズボンを交換しズボンは洗濯対応する。
- ・入浴時、左脛に内出血を発見する。
車椅子のフットサポートにぶつけた様子。入居施設職員に申し送る。
- ・到着時、両手指・爪に便汚染を発見する。
洗浄消毒を丁寧に行い、入居施設職員に状況を報告する。

66 歳女性要介護 3 (6 件)

- ・入浴時、右臀部に直径 10 cm程の内出血 2 箇所発見する。
ご家族・担当ケアマネに連絡する。ご家族より「昨日家の階段から落ちたが、痛みの訴えも無かったので大丈夫だと思った」とお話あり。デイ利用中も痛みの訴え等無く歩行にも
問題見られず過ごされる。
- ・入浴時、ショーツに便汚染と少量の出血痕あり。
大声お出し暴れてしまわれる為部位確認できないも、掻き篋る様子みられる為、傷が出来ている様子。傷があると思われる部分に軟膏塗布し状況をご主人・ケアマネに報告する。
その後、ご主人付添い皮膚科受診され、処方軟膏持参され、入浴後塗布させて頂く。
- ・施設と合同の西瓜割り大会に参加されるも、興奮状態で、大声・陰部の掻きむしりあり。
職員付添いデイルームに戻り、塗り絵していただくと落ち着かれる。
- ・入浴時、左臀部下、赤い爛れを発見する。
Ns に報告し、Ns により確認し真菌の疑いありとの事ご主人に報告し、その後皮膚科受診され、処方軟膏持参され、入浴後・お帰り前のトイレ介助時塗布させて頂く。
- ・昼食後、休憩中の職員が外に出ようとする時、「外に行こうよ」と外に出ようとする。(多数)
職員休憩中で人員不足の為、付き添って外にお連れすることはできず、外にお連れすると
歩き続けてしまわれる可能性ある為、室内で塗り絵していただくと落ち着かれる。
昼食後や終了時間が早い利用者様の送りの際も同様の状態で納得されない為、ガーデンの玄関を使用したり、パーテーション利用し、部屋から出られる方が見えない様に対応する。

95 歳女性要介護 4 (5 件)

- ・トイレ介助時、仙骨左側に 2mm×2mm の皮剥けを発見する。
アズノール塗布し毎トイレ介助時、確認しお帰りの際再度アズノール塗布し、入居施設 Ns に申し送る。
- ・到着時、靴と靴下に便汚染を発見する。
交換し洗濯対応する。

- ・トイレ介助時臀部に 2mm保護の傷を発見する。
アズノール塗布し様子観察、入居施設 Ns に報告する。
- ・トイレ介助時リハパン・パット・肌着・上着に便汚染を発見する。
全て交換し、衣類は洗濯対応する。
- ・トイレ介助時、肛門開いており、排便したい様子だが、便がおりて来ず、手で掻き出そうとされる。
不潔な為、お止めし、看護師 により摘便施行する。

83 歳男性要介護 1 (5 件)

- ・到着時尿パットのバルブがきちっとしまっていなかった様で、バック内や床を尿汚染してしまう
「自分で捨てた」と発言され、バルブをしっかりと閉まられなかった様子。バックは洗濯、床は
清掃消毒し、入居施設職員・担当ケアマネに報告する。
- ・入浴時、後頭部に酷い炎症あり。
函南看護師に報告確認後、看護師により軟膏塗布し、入居施設看護師 に報告する。
- ・入浴時下肢の炎症悪化し大腿部にも炎症を発見する。
炎症部に持参薬塗布し、ガーゼ保護する。状況を入居施設・担当ケアマネに報告する。
- ・入浴前、バック内の尿量少なく「自分で捨てた」と発言あり。
バックや衣類等に汚染見られなかったが、看護師により、尿量の記録を行っている為、入居施設
看護師と担当ケアマネに状況を報告する。
- ・15:50 トイレでの陰部洗浄時、痛みの訴えあり、確認すると睾丸裏に小さな傷と少量の出血を
確認する。
ガーゼ保護等出来ない為、持参薬を多めに塗布し、入居施設看護師、担当ケアマネに報告す
る。

83 歳女性要介護 4 (4 件)

- ・午後のオムツ交換時、臀部に 4 mm × 4 mm の皮剥けを発見する。
悪化の可能性高い為、函南看護師 に報告し看護師により処置施行入居施設看護師に報告する。
- ・個別レクで塗り絵をされている最中に色鉛筆や衣類に付いた毛玉の様な繊維を口に運ぼうとさ
れる。ご自分が付けていた指輪を外し口に運ぼうとされる。
食べ物ではない無い事をお話すると、ハッと気づきやめられるものの直ぐ同じ行為見られ
認知症が進んでいる様子の為見守り強化、できるだけ職員付添い対応する。
- ・昼食後口腔ケアをしていただき、席に戻られ、残っていたお茶を口に含むとうがいと同様に
吐き出してしまう為、衣類を汚染してしまう。
認知症の進行により、前にしていた動作と次に行った動作を混同してしまった様子の為
高温のお茶等危険な為、ぬるめで対応させて頂き、付き添い声掛け多く対応する。

86 歳女性要介護 5 (3 件)

- ・トイレ介助時、仙骨部に 1 cm 程の皮剥けあり。
体重があり、車椅子に座っている際、動きが少なく、傾きもある方の為、一カ所に圧力がかか
ってしまう様子。悪化の可能性が高い為、トイレ時等清潔に保ち軟膏塗布し入居施設看護師に

報告する。利用日は様子観察する。

- ・利用開始時、右もみあげ部分に発赤あって痒みの訴えあり。
皮膚が乾燥しており、皮膚も弱くなっている為の痒みと思われ、乾燥を防ぐ軟膏を塗布し様子観察する。
- ・トイレ介助時、パットに便失禁、衣類に便汚染あり。
パット・汚染された衣類は交換し洗濯対応する。

54歳女性要介護2（2件）

- ・上着のポケットからヘアゴムを出された際、ポケット内から使用済みで汚染されたペーパー類と共に使用済みのおりものシートがで出来る。
不潔な為、破棄させて頂く。今後は入浴時等、定期的を確認し、汚染されたおりものシート等を発見した際は破棄させて頂く。
- ・足浴後の足の処置中、突然靴下をこっちに預けてであると興奮状態。お預かりの靴下は無いこととお話するも、納得されず興奮状態続く。
持病の悪化の為が、急に気になった事やその他の事でも執着し説明にも耳を貸さず言い続け最後には号泣される事が多くなっており、他利用者様にも悪影響の為、職員付添い時事務所内で個別対応させて頂く。

81歳女性要介護4（1件）

- ・利用日毎回パッチ薬の貼り替えのある方だが、張り替えるはずの前回貼付したはずのパッチ薬が外れて無くなっている事に気づく。
入居施設看護師に報告し、剥がれない様貼付する為、テープで止める等対策を共有する。

要望報告

- ・硬便が肛門部に固まっており自力で排泄できず、大声で、「痛い、痛い」と叫ばれ、他利用者様より、「何してる」「声が大きい」「うるさい」「静かにしろ」等苦情発言多数聞かれる。
職員より他利用者様に事情説明し、納得していただく。（5件だが実際は利用日毎回）
- ・特定の利用者様に対し、極端に拒否され、過剰反応される。視界に入ることも「いや」と発言される。
席を離しできるだけ視界に入らない様対応させて頂く。
- ・昼食後、息子さんたちと交信していると息子さんたちの名前を大声で呼び続け、他利用者様より「うるさい」「何とかしろ」「いい加減にしろ」等苦情発言あり。
外にお連れし息子さんたちがいらしていない事を確認していただく、お話しを傾聴する。付き添う等し大声で呼ぶのをやめていただく様対応する。